

歌舞伎

栃尾にて待望の圭公演!

【第一部】

助六ができるまで

出演・花柳寿美藏
解説・千川 貴楽

【第二部】

歌舞伎舞踊助六

出演・花柳寿美藏

【第三部】

あんまと泥棒

村上 元三・作
岩瀬 道白・美術
竹柴 源一・補綴演出
出演・菊川喜千寿
千川 貴楽



フォーラム

公演



平成24年 5月21日(月)
栃尾市民会館(大ホール) 全席自由席

■開演時間:午後6時30分

※開場時間は午後6時

■入場料

前売り 1,000円(当日1,500円)

小・中学生 100円(保護者同伴に限る)

※未就学児は入場できません

前売り取扱い所

栃尾文化センター／小林酒店／やまたい酒店
広野茶店／レディスファッション おおさきや
山甲(本店)／かしいで屋／衣料の大崎屋
小町屋(大町店)／倉重商店／小町屋(トッピー店)

前売り販売開始 4月10日より

お問い合わせ: 栃尾支所地域振興課 ☎0258-52-5815 / 栃尾文化センター ☎0258-52-2020

主催: 長岡市栃尾地域ふるさと創生基金事業実行委員会 共催: NKS・TRC共同事業体(栃尾文化センター)

平成24年度 長岡市栃尾地域ふるさと創生基金事業

歌舞伎をもっと身近に感じる

『あんまと泥棒』

出演者

菊月喜千寿：昭和52年3月先代坂東三津五郎に入門、4月に初舞台を踏む。菊五郎劇団で培った軽快で歯切れの良い演技で、世話物の町人や中間などを得意とした立役。平成13年日本俳優協会賞奨励賞ほか。

千川 貴楽：国立劇場歌舞伎俳優養成所八期生、十一世市川団十郎襲名公演「助六」で初舞台。以後、現松本幸四郎に師事。歌舞伎に留まらず、時代劇・ミュージカル・新劇・ドラマなど活躍の場を広める。平成5年、二代目千川貴楽を襲名。NHKの所作指導などを担当。

花柳寿美蔵：幼少期より数々の舞台を経験。平成11年より亡父・花柳寿美蔵の名を許され、三世宗家花柳壽輔に師事。平成16年花柳流専門部試験に合格、師範資格を授与される。現在は四世花柳壽輔に師事。平成23年各流派合同新春舞踊大会奨励賞ほか。

上演構成

本公演は3部構成となっています。



「助六ができるまで」の様子



歌舞伎舞踊「助六」



「あんまと泥棒」の1シーン

第1部

歌舞伎ワークショップ「助六のできるまで」(30分)

歌舞伎俳優がいかにして作られていくのか、わかりやすく面白い解説で普段見られない化粧・衣裳の着付けを舞台の上でご覧頂きます。

第2部

歌舞伎舞踊「助六」(20分)

ご存知、歌舞伎十八番「助六」のエッセンスを凝縮した、これぞ歌舞伎!というダイナミックな歌舞伎舞踊です。遊郭を舞台に、助六が勇ましく華やかに舞い踊ります。

第3部

歌舞伎「あんまと泥棒」(50分)

「あんまと泥棒」は超一流のエンターテインメント作品!

歌舞伎には“時代物”と“世話物”と呼ばれるジャンルがあり、「あんまと泥棒」は“世話物”に分類されます。“世話物”は江戸時代の庶民の生活を題材にした物語が中心となります。義理や人情など庶民に身近なものをテーマにしたものが多く、またセリフ回しも「話し言葉」であるためとてもわかりやすく、予備知識がなくても誰もが楽しめる内容となっています。

本作品も、あんまとその家に押入った泥棒の滑稽な会話が物語の本筋となります。

この作品を観れば、歌舞伎に対する見方が180度変わることも間違いありません!

—「あんまと泥棒」あらすじ—

あんまの秀の市は、一見人当たりのよさそうな人物。しかし、彼には実は裏の顔が!?

ある日、秀の市が家に帰ると下から現れたのは泥棒の権太郎。

権太郎は「金を出せ!」と凄みますが、秀の市はのらりくらりと言い抜けます。その上、自分の哀れな身の上を泣きながら語り、権太郎の同情を引く始末。

結局、権太郎は秀の市からお金を奪うどころか逆にお金を恵んでやる羽目に権太郎は泣く泣く帰っていくのでした…

…泥棒が帰った後、秀の市はなにやらごそごそと始めます。そこには、あっと驚く衝撃のラストシーンが!!